

湖南圏域における世代・分野を超えた地域包括ケアの推進

令和4年度 南部健康福祉事務所

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり健康づくりを土台にして、病気や介護が必要となった時の事を心配せずに心豊かに安心して暮らせる地域を目指す。

番号	目標項目	目標設定の理由	達成状況(実績)	達成度	成果と課題	基本構想実施計画関連箇所	担当係
1	健康危機対応力の向上	保健所は地域の健康危機管理拠点であり、令和4年度から健康危機管理係が創設され機能強化を図った。 平常時から食中毒予防や感染症予防に対する県民意識の向上を図るとともに、危機管理に強い組織体制の整備、および人材育成を進める。 また、関係機関と連携して平時から地域の体制整備に努め、新興感染症、災害等を含む健康危機発生時には、的確に対応し、安全安心な社会の実現を目指す。	・長期化する新型コロナウイルス感染症による健康危機に対して、県庁、地域関係機関と連携し、感染拡大防止、適切な医療の確保ならびに療養支援に取り組む。 南部地域感染症予防対策連絡会の開催 1回 健康危機管理調整等会議の開催 2回 -1)災害医療体制検討委員会の開催 1回 -2)保健医療調整南部地方本部運営訓練の開催 1回 小児救急医療体制：行政担当者情報交換会の開催 1回 医師連絡会議の開催 2回 保健衛生講座開催(食中毒・感染症予防) ・年19回 ・受講者606人		・新型コロナウイルス感染症の対応にあたり、年度当初の第6波、7-10月の第7波、年末年始に予想されたインフルエンザとの同時流行等のタイミングに備え、関係機関との調整会議、必要な医療資源の準備、ICTの活用、保健所業務の一部のアウトソーシングを行い、医療崩壊を防ぎ、地域住民の生命と生活の安心を守ることができた。今後は感染症法上の取扱いの見直しに備え、国の方針を確認したうえで必要な医療体制の調整と整備を行う必要がある。 ・ICNの専門性とネットワークを活用し、新型コロナウイルス対策をはじめとした院内感染管理水準の維持と向上を図るとともに、介護保険サービス通所事業所を対象とした感染症対策研修会開催を通じ、地域の安全安心な介護保険サービス提供体制の強化ができた。今後は、新たなパンデミック等に備え、社会福祉施設等がICNの知識や経験を活用できるようなネットワークを拡張し、持続可能な地域の感染管理体制の構築が重要である。 ・管内の三浦会、消防、4市等と災害時医療の体制の確認ならびに避難行動要支援者への対応強化のため現状および問題点の確認をすることで、次年度以降の体制の維持および強化のためにすべきことの整理ができた。各関係機関が実際に災害が発生した際の具体的な状況を想定しながら、必要な訓練が実施できるよう支援、働きかけをしていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の流行下においても、保健医療調整南部地方本部運営訓練を実施し、DMATインストラクターからの助言も仰ぐことで、組織内の災害発生時対応能力を向上させることができた。今後は、保健所全職員に対して災害時に必要となる行動や機器の操作に関する継続した小規模訓練の実施が重要である。 ・甲賀保健医療圏とブロック化した小児救急医療の新体制について、運用後の現状を確認するとともに、医師の働き方改革や小児科医師不足等の医療側が抱える懸念事項を把握し、体制維持のための中長期的な対応方針を小児科医師と検討、合意することができた。今後は関係市への対応方針の説明と合意を踏まえ、各市における予算化を目指す。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 生涯を通じた「からだところ」の健康 政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	健康危機管理係
2	世代、分野を超えた地域包括ケアシステムの構築	2025年を見据え、高齢者のみならず、生涯を通じた地域包括ケアシステムの構築に向け、圏域の医療保健福祉関係者が人的ネットワークを形成し、自助・互助・共助・公助を組み合わせた協働して取り組みを進めることにより「一人ひとりが最期まで安心して心豊かに暮らせる地域」づくりを推進する。 (湖南圏域医療福祉ビジョンの実現)	湖南圏域医療福祉ビジョンの「見える化」の考え方、目標についての関係者との共有 ・2025年医療福祉推進協議会での説明・検討および活用についての周知 2回 ・ホームページ掲載による周知(3月末までに) 連携強化に向けた医療福祉等の場の設定 計画：10回(新型コロナ感染状況に応じて) 実績：13回 ・2025年医療福祉推進協議会 2回 ・認知症疾患医療連携協議会 1回 ・病院・在宅連携検討会議(WG含む) 2回 ・湖南圏域地域リハビリテーション推進会議(部会含む) 2回 ・難病対策地域協議会 1回 ・湖南圏域精神保健福祉：自殺対策担当者会議1回 ・措置入院長期入院者の退院および在宅支援部会コア会議1回、部会1回 ・湖南圏域自殺対策推進部会 1回 ・周産期保健医療連携調整会議 1回 地域の多職種連携研修等、質の高いケア提供のための人材育成 研修等 計画：各1回ずつ計3回 実績：4回 ・在宅医療(未開催) ・認知症(3回) ・精神(1回)		・湖南圏域2025年医療福祉推進協議会での意見交換を経て、ビジョンの「見える化」を実施した。指標の設定により、めざす姿・現状・課題が誰にもわかりやすくなり、各主体の取組がめざす姿の実現にどのように関わっているか、また、今後どのような取組をしていく必要があるかが共有できる。今後は、関係機関・団体においても、各分野の推進にかかわる会議等での現状説明や住民への啓発資料として活用する。成果を確認し新たな取組を検討するために活用することにつながるよう普及に努め、更新していく必要がある。 ・これまで重点として進めてきた圏域の地域包括ケアシステムの目指す姿は変わらず、圏域内の関係機関・団体と培ってきた連携・協働による支援体制は、新型コロナウイルス感染症対応における新たな体制整備や在宅療養者の支援の充実にもつながった。 ・新型コロナ健康危機対応を最優先に業務継続を行ったが、年度後半には、この2年間で中斷・縮小せざるを得なかった連携強化に向けた会議等の場を再開することができた。地域・医療福祉関係者の継続的な取組により地域づくり・連携強化が進んだ点とコロナ禍により取組が進みやすくなった課題を改めて共有することにより、今後の取組の足懸かりとすることができた。 ・研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着いている時期に、zoomを活用する等により、コロナ禍においても必要な人材育成を行い、連携強化を図ることができた。 ・新型コロナ感染症危機対応の経験を、より柔軟に対応力のある地域包括ケアシステムの構築に活かしていくため、引き続き関係機関と協議や検討を行っていく必要がある。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 生涯を通じた「からだところ」の健康 政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	総務係 医療福祉連携係 地域保健福祉係
3	健康づくりの推進 健康寿命の延伸	健康寿命の延伸をめざし、湖南圏域の保健医療福祉関係者が連携して、食・運動・禁煙など、健康づくり、生活習慣病に対する予防の推進に向けた支援を強化する。 特に働き盛り世代をターゲットとした健康なまちづくりを目指し取り組みを進める。	Withコロナ状況下での健康増進、地域、企業、保険者の連携強化に向けた協議の場の設定・実践 ・湖南圏域みんなでコロナヘルス推進会議 1回 ・各団体が持つ資源や情報の整理、講座等の情報の更新 ・湖南圏域糖尿病対策推進会議(未開催) ・湖南圏域歯科保健推進会議 1回 質の高いケア提供のための人材育成 研修等(健康づくり、糖尿病、歯科) 計画：2回 実績：未開催		・新型コロナ健康危機対応を最優先にBCPに沿って業務継続を行い、研修会の開催は見合わせたが、働き盛り世代をターゲットとした地域職域連携推進事業(みんなでこらへルス推進事業)の再開に向け、地域・職域関係者へのヒアリング・調査等により現状把握を行い、会議を再開することができた。これまでの健康情報を活用する取組を継続することや健康づくりに関する環境整備の必要性について協議し、共通認識することができた。 ・糖尿病予防・重症化予防のための多職種連携、支援体制整備に向けての取り組みは再開できていないが、かかりつけ医と専門医の連携にかかわる調査結果や各市の特定保健指導等個別支援の状況もふまえ、関係機関とともに具体的な取組の検討を進める必要がある。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 障害を通じた「からだところ」の健康 政策(1)生涯を通じた健康づくり	医療福祉連携係

「達成状況」 目標を超えて達成(100%超)、 目標どおり達成(100%)、 目標の半ば以上の実績(50%以上)、 × 目標の半ば以下の実績(50%未満)